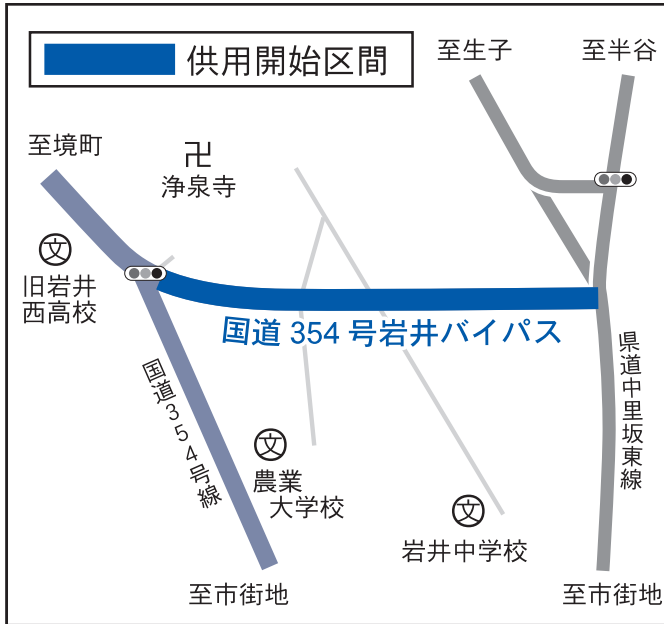


国道354号岩井バイパス 一部供用開始



▲一部供用開始する国道354号岩井バイパス



建設中の国道354号岩井バイパス(上出島～馬立区間、延長3,600m)のうち上出島～上岩井間、延長1,300mが7月25日に暫定2車線で一部供用開始となります。

当路線は坂東市中心市街地での渋滞の緩和と、圏央道ICへのアクセス道路としての整備効果が期待されます。

■お問合せ 道路課 岩井臨時庁舎
内線 3324

ばぶどいっ まぢぢへんり

坂東市長 吉原英一



子育て支援についで

近年、少子高齢化への急激な進展や就労環境の変化などを背景に、育児不安や子どもへの虐待など、子育てをめぐる社会環境はかなり厳しい状況にあります。

安心して子どもを産み育てることができるよう目指して、「次世代育成行動計画」を策定しました。子どもが輝く未来づくりを基本理念としながら、家庭や学校、地域、行政、企業と連携を図りまして、安心して子どもを産み育てることができるよう環境と、それを支える体制づくりに向けて事業を実施しているところです。

子どもの出生数は減少しつつも保育の需要は依然として高く、保育園への入所希望は毎年増加しています。このような状況のなか、教育や保育及び保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するために、中根保育所と岩井第一幼稚園を統合した「認定こども園」の建設を、来年4月の開園に向けて進めています。

この施設は、保育所と幼稚園の垣根を取り払い、保護者の就労形態に関係なく、一緒に保育や幼児教育を受けることができる新しいタイプの幼児総合施設です。施設内に子育て支援エリアを設置し、子育ての親子の集いや一時預かり、妊婦を含めた子育て相談などを行う場を提供するとともに、地域のかたや高齢者と触れあう交流の場を取り入れ、地域と共に育んでいける施設にしたいと考えています。

するための「さわやか子育て出産奨励金」事業を行っています。坂東市在住6月以上のかたが対象で、第3子以降1人につき50万円を支給して、子どもの健全な育成や育や福祉の増進に役立てていただいています。

また、子育て支援事業として、仕事により昼間保護者が家庭で保育できない小学1年生から3年生の児童を対象に、各小学校区に放課後児童クラブを設置して保護者が安心して仕事に従事できるよう支援しています。さらに、岩井・猿島両地域に母親クラブがあり、児童福祉センターや猿島公民館を拠点に、就学前のお子さんを持つお母さん達が活発に活動できるようサポートをしています。

今後も、身近に相談できる体制の整備や子育て支援センターの機能の充実など、家庭や地域における子育て支援を行いながら、未来を託す確かな人づくりを積極的に進めていきます。